

コーポレート・ベンチャーキャピタルファンドを本格稼働
～米国シリコンバレーを拠点に設立～

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長グループ CEO: 小宮 暁、以下「当社」)は、コーポレート・ベンチャーキャピタル(以下「CVC」)ファンド「Tokio Marine Future Fund」を 4 月から本格稼働させます。CVC ファンドを通じて自律的かつ機動的な投資を加速させ、最先端の技術やビジネスモデルを有する国内外のスタートアップ企業との連携・共創をこれまで以上に推進していきます。

1. CVC ファンド設立の背景・目的

当社は、2016 年 11 月の米国シリコンバレーでのデジタルラボ立ち上げ以降、世界 7 拠点到デジタルラボを展開し、オープンイノベーションを通じた新たな商品・サービス、ビジネスモデルの開発を進めてきました。また、WiL, LLC(CEO: 伊佐山 元、以下「WiL」)をはじめとするベンチャーキャピタル等とも連携し、革新的な技術・イノベーションに関する情報収集やスタートアップ企業との協業・提携を、日本国内だけではなく海外においても進めています。

このような中、当社はスタートアップ企業への投資を通じて新たなビジネスモデルの探索・事業開発を加速させるため、2021 年 10 月 CVC ファンドを米国シリコンバレーを拠点に設立しました。グループのデジタル戦略を支える基盤の一つとして 2022 年 4 月から CVC ファンドを本格稼働させます。これまで取り組んできたミドル・レイターステージを中心とした戦略的な投資に加えて、CVC ファンドを通じたシード・アーリーステージへの機動的な投資を加速させることで、潜在的な成長市場を見極めるとともに、将来の事業戦略パートナーとなり得るスタートアップ企業との早期の接点強化・関係構築を進めていきます。

2. CVC ファンドの概要

名称/ コーポレート シンボル	Tokio Marine Future Fund  TOKIO MARINE FUTURE FUND (登記上の名称: Tokio Marine Future Insurance Fund I, L.P.)
設立目的	保険および隣接領域に関わるスタートアップ企業への投資・協業支援
設立日	2021 年 10 月(2022 年 4 月より本格稼働)
出資総額	42 百万ドル(約 48 億円)
運用期間	10 年間
投資対象	シード・アーリーステージ期のスタートアップ企業
投資分野	インシュアテック、フィンテック、モビリティ、ヘルスケア、サイバーセキュリティ、サステ

	ナビリティ、ディープテック ^(※) 等 ※日常生活に大きな変化をもたらし、社会課題解決に資する技術
運用者	WiL, LLC CVC の運営は、独立系ベンチャーキャピタルとして実績のある WiL が担い、投資案件の発掘・投資実行や投資後の支援を行います。
ウェブサイト	https://tmfuturefund.com/

3. 今後の展開

当社が展開する世界 7 拠点のデジタルラボとの連携によってグローバルなデジタルシナジーを追求し、CVC ファンドを通じて投資するスタートアップ企業の持つ新たな技術やソリューションを活用して、革新的な商品・サービスを国内外で提供していきます。また、今後も積極的にスタートアップ企業への投資・協業・提携を行うことで、日本国内ならびに米国シリコンバレーを中心としたオープンイノベーションの発展にも貢献していきます。

【WiL の概要】

WiL は、米国シリコンバレーと東京に拠点を置くベンチャーキャピタルであり、日米を中心に有望なベンチャー企業の発掘・育成・投資を行っています。また、日本国内の大手企業とパートナーシップを組み合わせながら、スピンアウトベンチャーの創出や企業内起業家育成等のオープンイノベーション推進にも積極的に取り組んでいます。

URL: <https://wilab.com/>

以上